

「尊厳ある縮退」を考える公開研究会 (第5回)

主催

「尊厳ある縮退によるコミュニティの再生と創生」研究会

共催

人間科学研究科附属未来共創センター（災害ボランティアラボ・障害ラボ）

後援

NPO法人神戸まちづくり研究所（まちラボ）/日本福祉のまちづくり学会関西支部

「尊厳ある縮退によるコミュニティの再生と創生」研究会（研究代表者：大阪大学 渥美公秀）は、人口減少、単身世帯の増加、超高齢化など、コミュニティの構造が変貌する中で、市民の自発的意思による「尊厳ある縮退」とは何かを示し（理論）、社会実装（手法・施策）することをめざしています。さまざまな実践知、学知を共有し、討議を行う場として公開研究会を連続開催しています。

第5回は日本にホスピスを導入された柏木哲夫先生と、教育心理学がご専門の柏木道子先生をお招きし話題提供をいただき、「人としての尊厳」、「地域としての尊厳」についてみなさんと共に学び、考える機会を創ります。

日時：2020年11月24日（火）15:30－17:30

文字通訳
がつきます

場所：大阪大学人間科学研究科33教室（定員40名）
オンライン会議システムZOOM（定員60名）

＊現地参加は、研究会、阪大関係者に限ります

内容：【1】「尊厳ある死とは」
柏木哲夫先生

（淀川キリスト教病院名誉ホスピス長、大阪大学名誉教授、ホスピス財団理事長）

【2】「奈良県の限界集落での体験から」
柏木道子先生

（元大阪キリスト教学院短期大学学長）



参加申し込み：

下記のURL又はQRコードよりお申込みください。（事前申込者優先）

<https://forms.gle/SaDu5NASATGkLX7s9>

【問い合わせ先】

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター（担当：石塚）